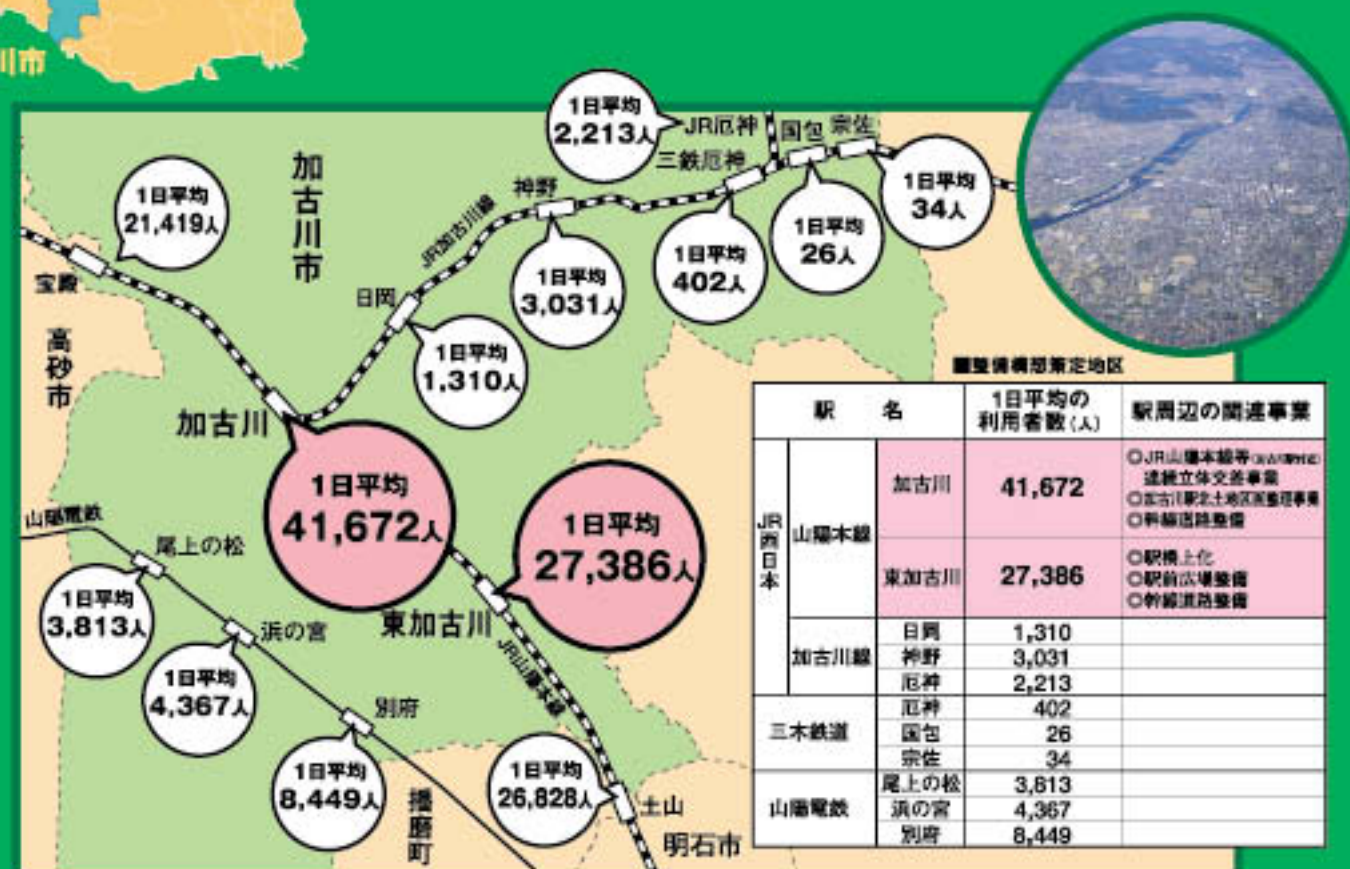


安心して交通移動できるまちづくり。

バリアフリー化の整備構想。

加古川市内の鉄道駅11駅のうち、特に利用者数が多く、早期にバリアフリー化が実現可能な地区として、JR加古川駅、JR東加古川駅の2駅の周辺地区を、重点的にバリアフリー化を図る地区（重点整備地区）と位置づけました。



（平成13年データ）

高齢化社会では誰もが安心して快適に移動出来る道が求められています。

駅周辺には多くの人々が利用する様々な施設があります。このような施設へ行く道は、特に優先的に整備を行う必要があります。

バリアフリー化された経路を重点的に整備します。

今後、優先的にバリアフリー整備を行うべき道路として「特定経路」と「準特定経路」（下図参照）を定めました。具体的には次のような整備を行います。

- 歩道の有効幅員を、特定経路については2m、準特定経路については当面1.5m以上とします。
- 車いす利用者が移動しやすいよう、歩道の勾配をこれまでより緩やかにします。
- つまづき事故防止のため、歩道の老朽箇所の補修を行い、歩道上の段差をなくします。
- 視覚障害者誘導用ブロックを設置します。
- 歩道の舗装は平坦ですべりにくく水はけの良い透水性舗装とします。（特定経路のみ）

■加古川駅周辺経路



■東加古川駅周辺経路



- 凡例
- 特定経路 (2010年までに整備予定)
 - 特定経路 (2010年以降に整備予定)
 - 準特定経路
 - 重点整備地区 (205 ha)
 - 加古川駅北土地区画整理事業
 - 公共施設
 - 商業施設
 - 病院



加古川市役所



県立加古川病院



総合文化センター



ベルデモール



加古川公民館